

ふるさと教育 取組事例

学校名	大田市立仁摩小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
5	総合・理科 社会科	支援米を送ろう (米の栽培体験)	宅野 米栽培農家の方 仁摩町各まちづくりセンター職員
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・地域で農業を営んでいる方の話を聞いたり、米の栽培体験をしたりすることを通して、これからの地域や農業の課題について関心をもち調べようとする態度を育てる。 ・世界の国々の中の日本を知り、今の自分たちの生活について考える。 	
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題づくり ・米の栽培体験 (地域の田での田植え、稲刈り・バケツ稲の観察) ・調べ学習 (図書資料・インターネット・農家の方の話) ・まとめ (パワーポイント) <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方から話を聞いたり、実際に田植え、稲刈りを体験したりすることで地域が抱える課題について知り、解決するために自分たちができることを考えるきっかけとする。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験での学びを教科学習へ関連付けることで、学習への意欲関心を高めると共に、学習内容の理解を深める。 <p>3 児童・生徒に見られた変容 (どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしい米を育てることで、地域の農業を守る努力を続けておられることを知り、地元でとれた米やそれに関わる方への感謝と尊敬の念をもつことができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科で、植物の発芽や生長について関心をもって取り組んだ。また、植物の発芽や生長について学んだあと、実際の田での稲の栽培と関連付けて考えさせることで土や日光・水が必要であることの理解が深まった。 ・パワーポイントを使って学習のまとめをしたことで、タブレットを操作する力が高まった。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での学習を教科に効果的に位置づけることにより、児童の興味関心を高め、学力育成につなげることができると考える。そのためには、教員が地域を知ること、地域のつながりを広げること、地域と学校とが活動のねらいを共有することなどが必要である。 ・ICT環境の整備により、オンラインや映像等を活用することも考えられるが、やはり小学生にとっては、実際にひとものことに触れる体験をする方がよい。 			

